



ドキドキスポ婚UTSUNOMIYA



宇都宮大学行政学研究室Bチーム 川口直樹 銭汀芷

提案の概要

課題：

- 若年層の来場が少ない
- 婚活イベントによる成婚が少ない

目標：

サッカーと結婚支援を掛け合せた「アプリ」と「スタンプラリー」の提案で、若年来場者の増加と婚活イベントの多様化を目指す



「スマート×風土」との関連

- スマート：AIマッチングなどスマート技術の利用が進む結婚支援
- 風土：宇都宮のプロスポーツ

現状分析（サッカー）

Jリーグ来場者の平均年齢と若年層割合の推移

年度	平均年齢 (歳)	11～18歳(%)	19歳～22歳(%)	23歳～29歳(%)
2000	記載なし	12.6	11.2	26.0
2001	記載なし	12.0	11.4	26.2
...				
2018	41.9	6.5	6.0	11.1
2019	42.8	5.8	5.5	10.8
栃木SC		9.1	2.9	7.0

2004年～2019年のJリーグサマリーより抜粋・筆者加筆
<https://www.jleague.jp/about/spectator-survey/>

若年来場者の減少

現状分析（結婚支援）

- とちぎ結婚支援センター「VERY MATHING」において、イベントによる成婚数は7組14名（2017年4月1日以降）
- カフェ巡り、映画鑑賞、聖地巡礼などのイベントがあるが、違った趣向のイベントがあっても良いのでは



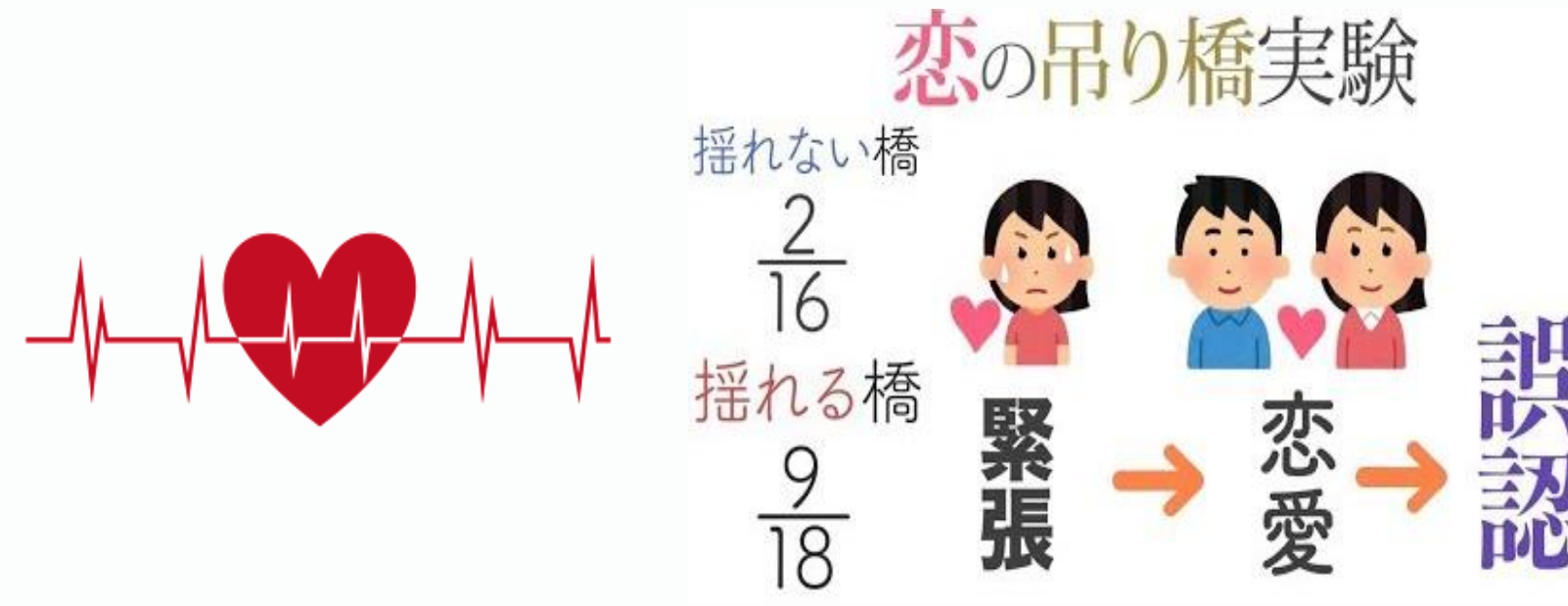
婚活イベントの多様化を目指す

なぜ結婚支援にサッカーか

「吊り橋効果」：

高い吊り橋を渡ることによってアドレナリンが急増し、緊張体験を共有する異性が魅力的に感じるという現象

（同じ運動部活動内でカップルが成立しやすいなど身近な例も）



「一緒にドキドキする体験」がお見合いイベントに効果的に発揮できる可能性がある

提案①アプリ

機能①座席検索システム

現状は、座席番号を手掛かりに、自力で探す必要あり。座席の地図とともに、可視化するとわかりやすい。

機能②トイレ利用状況通知

サッカー観戦の悩みの種、トイレ。トイレに行っていて、ゴールシーンを見逃す悲劇を回避&分散利用で密回避。



提案①アプリ

機能③スタジアムグルメ注文

当面はお店で対面受け取りや座席配達。いずれはドローン配達も。注文待ち行列回避には多くのメリット。

機能④シャトルバス時刻表

乗り場の案内強化とともに、時刻表や運行状況があると便利。分散利用を促す。



提案②スタンプラリー

アプリの利用促進のため、スタンプラリーを実施

- ①スタジアム来場回数、②スタジアムグルメ購入回数、③グッズ購入金額に応じてプレゼント

条件をつける

- ①アプリを利用して出会った男女であること
- ②2人で一緒に来場、購入すること

期待されるメリット

- ①若年来場者増加
 - アプリの利用は30代以下程度の若年層を想定
 - アプリとスタンプラリーの相乗効果を期待
- ②将来のサポーター獲得
 - アプリを通して出会った男女が結婚・出産
 - 子どもも両親の影響でサッカー好きに

アプリによるメリット

- サッカー観戦のハードルを下げる
 - サッカー観戦経験の少ない男女に
 - サッカー観戦の全体像を知ってもらい、利便性を高め、より気軽にスタジアムに来てもらう
- スタンプラリーによるメリット
 - ①婚活イベントの成功率アップ
 - 「単純接触効果」：繰り返し会うと好感度アップ
 - 継続的な来場が望ましい。その動機付けに。
 - ②クラブ収入アップ
 - 継続的なスタジアム来場、グルメ・グッズ購入で、チケット・物販収入の増加に寄与

まとめ

- 「若年来場者の減少」のJリーグと「婚活イベントの多様化」の結婚支援
- 2つを掛け合わせた今回の提案が、双方に良い影響を与えることを期待

